



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	155,761	26.5	5,807	57.1	6,074	50.2	3,452	61.6
26年2月期第3四半期	123,162	13.3	3,696	1.4	4,043	4.1	2,136	21.0

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 5,665百万円(111.9%) 26年2月期第3四半期 2,673百万円(20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	123.30	—
26年2月期第3四半期	76.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	101,436	48,371	43.5
26年2月期	85,643	43,533	46.1

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 44,150百万円 26年2月期 39,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年2月期	—	14.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	204,000	20.5	7,000	23.2	7,300	19.1	4,100	23.7	146.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	32,267,721株	26年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	4,265,464株	26年2月期	4,265,241株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	28,002,376株	26年2月期3Q	28,004,847株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、全般的な企業業績は好調を続け、株価も上昇基調で推移しておりますが、消費増税や食料品等の値上げの影響により消費意欲は依然として低迷しているように見られます。当食肉業界におきましても、原料価格の高騰によるコスト上昇と消費者の低価格志向とのギャップに悩まされる状態が続いており、全般に厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、利益率の低下に対応した営業施策とコスト低減、利益の最大化を目指した垂直統合を推進し、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、原料価格の高騰が続く中、得意先へのきめ細かな対応により取扱数量の確保に取り組みました。また、牛・豚の生産事業拡大、輸出事業の強化、グループ間企業の協力促進による事業開発も引き続き進めております。さらに、秋冬シーズンの到来にあわせて、定番の「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズや「お手軽スタミナ食堂」シリーズ、「レンジで簡単調理」シリーズの拡販に努めました。食肉等の小売及び外食事業においては、小売部門では、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。外食部門では、ステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年1月から新たに株式会社フードリエ（昨年8月にグリコ株式会社から商号変更）がグループに加わったこと、積極的な営業活動により取扱量が増加したことなどにより、売上高1,557億6千1百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益58億7百万円（前年同四半期比57.1%増）、経常利益60億7千4百万円（前年同四半期比50.2%増）、四半期純利益34億5千2百万円（前年同四半期比61.6%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,332億2千2百万円（前年同四半期比31.3%増）、セグメント利益は52億3千4百万円（前年同四半期比48.7%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は156億2百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は8億9千9百万円（前年同四半期比53.0%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は58億2千2百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益は3億6千7百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

④その他

売上高は11億1千3百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は9千8百万円（前年同四半期比34.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて157億9千2百万円増加し、1,014億3千6百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて109億5千4百万円増加し、530億6千4百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて48億3千8百万円増加し、483億7千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年8月11日に発表しました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,454	16,241
受取手形及び売掛金	19,158	25,257
商品及び製品	8,323	13,069
仕掛品	3,304	577
原材料及び貯蔵品	2,166	3,651
その他	1,727	2,987
貸倒引当金	△209	△296
流動資産合計	49,926	61,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,566	27,618
減価償却累計額	△18,224	△18,704
建物及び構築物（純額）	9,342	8,913
土地	10,236	10,677
その他	21,578	23,860
減価償却累計額	△15,193	△15,719
その他（純額）	6,384	8,141
減損損失累計額	△653	△619
有形固定資産合計	25,310	27,111
無形固定資産		
のれん	31	22
その他	279	298
無形固定資産合計	310	321
投資その他の資産		
投資有価証券	6,948	9,737
その他	3,411	3,045
貸倒引当金	△263	△267
投資その他の資産合計	10,096	12,514
固定資産合計	35,717	39,947
資産合計	85,643	101,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,518	20,769
短期借入金	4,000	5,514
未払法人税等	1,090	990
賞与引当金	602	1,120
その他	6,648	6,894
流動負債合計	24,859	35,289
固定負債		
社債	80	40
長期借入金	12,495	12,459
退職給付引当金	2,023	1,858
役員退職慰労引当金	153	170
その他	2,497	3,246
固定負債合計	17,250	17,774
負債合計	42,110	53,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	24,570	27,264
自己株式	△2,990	△2,991
株主資本合計	37,830	40,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356	3,165
繰延ヘッジ損益	66	70
為替換算調整勘定	240	390
その他の包括利益累計額合計	1,663	3,626
少数株主持分	4,039	4,220
純資産合計	43,533	48,371
負債純資産合計	85,643	101,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	123,162	155,761
売上原価	104,202	129,483
売上総利益	18,959	26,278
販売費及び一般管理費	15,263	20,470
営業利益	3,696	5,807
営業外収益		
受取利息	19	27
受取家賃	118	66
受取配当金	73	103
負ののれん償却額	42	4
その他	374	378
営業外収益合計	626	581
営業外費用		
支払利息	109	132
賃貸原価	48	9
その他	121	172
営業外費用合計	279	314
経常利益	4,043	6,074
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51
負ののれん発生益	112	—
受取補償金	53	—
その他	15	18
特別利益合計	181	70
特別損失		
固定資産処分損	28	65
減損損失	120	6
店舗閉鎖損失	27	10
その他	35	7
特別損失合計	212	89
税金等調整前四半期純利益	4,012	6,055
法人税等	1,699	2,361
少数株主損益調整前四半期純利益	2,313	3,693
少数株主利益	176	240
四半期純利益	2,136	3,452

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,313	3,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	1,821
繰延ヘッジ損益	24	3
為替換算調整勘定	280	143
持分法適用会社に対する持分相当額	4	2
その他の包括利益合計	359	1,971
四半期包括利益	2,673	5,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,485	5,415
少数株主に係る四半期包括利益	187	249

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,426	14,871	5,740	122,038	1,123	123,162	—	123,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,812	30	124	4,967	103	5,070	△5,070	—
計	106,239	14,901	5,865	127,006	1,226	128,232	△5,070	123,162
セグメント利益	3,520	587	343	4,451	72	4,524	△828	3,696

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△828百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売事業」及び「その他」において、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売事業」8百万円、「その他」112百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「食肉等の製造・卸売事業」において、連結子会社株式の追加取得により112百万円の負ののれん発生益を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	133,222	15,602	5,822	154,647	1,113	155,761	—	155,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,474	41	176	5,691	114	5,806	△5,806	—
計	138,696	15,644	5,999	160,339	1,228	161,568	△5,806	155,761
セグメント利益	5,234	899	367	6,500	98	6,598	△791	5,807

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△791百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△755百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。